



# さざんくろす

December 1st, 2022

Vol.80

## 年末のあいさつ



病院長

阪越 信雄

令和 4 年も残りわずかとなりましたが、皆様にはお元気でご活躍のことと思います。

今年 1 年を振り返って「最も関心を集めたニュースは何か」と言えば、やはり COVID-19 でしょう。都会ではこれまで緊急事態宣言が何度も出されてきましたが、和歌山では 2 月に初めて蔓延防止等重点措置が発出されました。院内での COVID-19 はそれまでは散発するだけでしたが、4 月以降、特に 6 月の第 7 波では、1 人が発症すると、濃厚に接触したと思われる職員や入院患者の行動を調査し、迅速に多人数の PCR 検査を行う、という作業が幾度となく必要となりました。連日、夜遅くまで検査に携わっていただいた関係部署の方々、本当にお疲れ様でした。一方で、クラスター認定された病棟で一時的に入退院を制限したり、スタッフやその家族の感染のため一度に多くのスタッフが出勤困難となり業務縮小を余儀なくされたり、そんな問題もありましたが、地域中核病院としての機能に大混乱は生じなかったように思います。

今年も昨年と同様に、当院では専用病床を最大 60 床として、紀南医療圏以外の医療圏からの患者を含め多くの COVID-19 患者を受け入れてきました。9 月になってようやく第 7 波が収束したため、県当局との相談で 10 月 12 日からは即応病床を 21 床に縮小しました。しかしその後再燃の兆しが見られたため、11 月 2 日からはこれを 30 床に再増床しました。この状況を見ると、COVID-19 第 8 波、そしてこれに 3 年ぶりのインフルエンザ流行が加わった「ツインデミック」が現実のものとなる可能性もあるようです。これまでいろいろな形で COVID-19 診療に対応・協力していただいて来た多くの医師、薬剤師、看護師、医療技術職、事務系職員、全ての病院職員の方々には、この場を借りて改めて深く御礼を申し上げるとともに、今後もますます奮闘していただきますようお願い申し上げます。

病院経営について言えば、今年も外来患者・入院患者の減少により医業収益では赤字となっていますが、国からの補助金によって総収支的には何とか持ちこたえている状況です。ただし将来にわたって補助金が支給され続ける保証はなく、今後さらに厳しい経営状況に陥る可能性があることは念頭に置かねばならないようです。

一方、厚労省は COVID-19 により中断を余儀なくされていた医師の働き方改革・地域医療構想についての検討を再開しました。

「医師の働き方改革」については、2024 年から医師の時間外勤務が強く制限されます。これに対する方策の一つとして医師から他職種への「タスクシフト」が求められています。当院では既に、外来診察補助（診療録記載や検査の代行入力）・診断書代行記載（仮作成し発行前に医師が確認）・パラメディカル業務（直接侵襲を伴わない検査装置の操作や生命維持管理装置の操作）などにおいて、関連職種の協力のもとタスクシフトを行っています。これらについては、今後さらに拡張して行く予定です。

当初は赤字公立病院の統廃合目的の意味合いが強かった「地域医療構想」は、COVID-19 の感染拡大を契機に、新興感染症を念頭においたものに転換されつつあります。当院は今後も急性期を中心とした医療を継続する予定であり、回復期医療・慢性期医療は、近隣の中小公立病院や民間病院に分担して欲しいところです。また COVID-19 についても当院は中等症以上の入院加療を担当し、軽症例は他病院に担当してもらいたいところです。ただ、これらの役割分担は当院だけで決定できるものではなく、行政の強いリーダーシップが必要です。今後も地域の会議等で行政に働きかけて行く所存です。

これら以外にも病院の行く手には乗り越えなければならない問題が山積しています。これらの解決に向けて、病院長としてさらに努力を重ねたいと思っています。

さて、令和 5 年の干支は兎（ウサギ）です。兎には大人しく穏やかなイメージがあることから「安全」の象徴であると言われており、さらにその跳躍力から「飛躍」「向上」という意味も持ち合わせています。紀南病院を取り巻く環境は依然として厳しいと思いますが、病院全体は「安全」な医療を提供し、職員一人ひとりには実力を「飛躍」「向上」させる、そんな来年になることを望んでいます。

来年も職員の皆様全員が健やかに生活し、笑顔で年末を迎えることができることを祈念して、私の年末のご挨拶とさせていただきます。

# KINAN 研修医日記



研修医

平 克彦

田辺に来て、まず苦労したのは虫でした…1年目の6月頃に今まで見たことのない虫が何匹も家の中で出現し、てんやわんやしました。最初はGかな？でも動きはGっぽくないな…と思い、ネットで調べまくり、シロアリということが判明しました。全然白くないのもいるんですね…びっくりしました。シロアリについてはかなり詳しくなりました。

趣味は映画鑑賞、音楽、チャリです。全てのジャンルの映画が好きです。家では基本的に学生の頃に買った激安プロジェクトで映画を観ています。映像、画像を観て、読み解くということが性に合っていると思います。今は放射線科を志望しています。

残りわずかな研修生活となりましたが、今後ともよろしく願いいたします。

この度、研修医日記の担当となりました研修医1年目の有田一翔です。某漫画の海軍大将みたく「イッシュウ」と読みがちですが、あの有名プロボクサーと同じく「かず」と読みます。名前だけでも覚えていただくと幸いです。

さて、紀南病院で働き始めて約9ヶ月が経とうとしております。ようやく仕事にも慣れ、スタッフの皆様にご支えていただきながら充実した日々を過ごしております。あまり皆様の前でご挨拶する機会もないので、この場をお借りして自己紹介させていただきます。

生まれは大阪。育ちは広島。概ね育ちきった後は、再び大阪で大学時代を過ごしました。クラシックマニアの祖父や両親に影響されたためか、古典音楽大好き少年として育ち、中高時代は吹奏楽部で365日フルートを吹く生活を送っていました。さすがにずっと音楽ばかりしているのもどうかと思い、大学からは心機一転、運動部に入って毎日ひたすら練習に明け暮れる、、、つもりで入部一歩手前までいったのですが、ふとしたきっかけから急にオーケストラへ入りたくなり、結局、全学部合同の交響楽団に飛び込んでしまいました。ところが、見学に訪れたときには既にフルートの募集が締め切りとなっており、あえなく撃沈。そんなとき、「これ吹いてみいひん？」と近くにいた先輩に幸か不幸か声をかけられ、手渡されたのは、名前も見た目も音色もすべてが冗談の塊みたいな楽器……「ファゴット」でした。

こうして、この恐ろしく知名度が低い楽器にチャレンジすることとなったのですが、思っていたよりもずっと難しく、ときには始めたことを後悔する始末。それでも、難しいからこそ闘志に火がついたのか、練習するうちにどんどのめり込んでいき、振り返ってみると大学生活の大半をファゴットとオーケストラに費やしていました。

そして、沢山の苦楽を共にしてきた相棒(ファゴット)とともに大阪を離れ、4月から紀南病院で研修させていただいております。浅学非才の身ではありますが、日々精進して参りますので、これからもよろしく願いいたします。



研修医

有田 一翔

# 医療の現場から



こころの医療センター  
薬剤部 主任

湯川 裕光



紀南こころの医療センター薬剤部はその名の通り、紀南こころの医療センター内にあり、現在は薬剤師3名と薬局助手1名の美男美女で構成されています。また、基本的に紀南病院と定期的な人事交換をおこなっております。

業務の特徴は調剤業務が最も多い業務となります。その中から、医療安全、感染対策チーム、褥瘡対策チーム、心理教室等に参加させていただいています。

当センターは近年では珍しくなりましたが外来処方院内・院外選択性をとっており、令和3年度では67.3%の院内処方率でした。外来患者数も多く、そのためか精神神経用剤においては、和歌山県では他の追随を許さないほどの購入・使用量の多い病院でもあります。

また最近では、精神科の受診のハードルが下がったのか、社会的な認知度が上がったのか、若い方のうつ・抑うつの患者さま、睡眠障害・不安障害の患者さま、発達障害の患者さま、認知症やその周辺症状の患者さま等が増え、患者さまの精神疾患が多岐にわたっている印象をうけます。

精神科の患者さまは薬を服用時間毎にまとめる一包化や粉薬が多いのも特徴です。そのためコンピューターシステムや機器を活用することは医療安全や質、待ち時間の短縮には欠かせない部分となっています。

入院患者さまにおかれましても自己管理に不都合な患者さまが多く、一包化できる薬剤は一包化して投薬をおこなっていますが、薬剤師の病棟業務については現状、まだまだ業務・算定条件面等のハードルがあり充分に行えていないのが現実です。

医薬品不足問題が精神科領域でも直面しているなか、患者さま・医療に従事する方々にはご迷惑をおかけしています。

今後とも、役不足ではございますが地域精神医療・県精神医療のお手伝いを少しでもできればとの次第です。



## 院内急変対応チーム結成

紀南病院では、患者さん等が急変した場合に、迅速に救命処置を実施するため、ハリーコール体制(ドクターハリー)を採用しています。これは、院内急変が起こり、多数の医師等の医療スタッフが必要な場合、全館放送で「ドクターハリー！」のコールを流すと、対応可能な院内の医療スタッフが一斉に現場に駆け付け、救命処置を行うというシステムです。

これまで、このシステムで多くの急変事例に対応してきました。

ただ、経験を積み重ねる中で、集まったスタッフに指示等を出す役割をする者がいれば、より迅速かつ適切な対応ができる、と考えました。そこで、院内急変時にリーダーシップをとるスタッフを募り、本年9月に院内急変対応チームを結成しました。

ハリーコールの際には、業務の許す限り現場に駆け付け、リーダーとしての役割を果たしていくよう努めますので、よろしくお願いいたします。

なお、メンバーは「赤い名札」を着用しています。「赤」はエマージェンシー(緊急事態)を意味しますが、他方で「リーダーシップ」の象徴でもあります。ハリーコール時、リーダーシップをとり、院内急変対応向上の一助となれるよう活動しますので、よろしくお願いいたします。



# 病院のまど

New Face さ〜ん

【 医師 】

- ①出身地②趣味・特技  
③一言アピール(敬称略)



はしもと やすじ  
《外科》橋本 安司

①奈良県 -  
③10年ぶりのぐらいの2度目の赴任です。よろしくお祈りします。



いしはら ともかず  
《消化器科》石原 朋和

①和歌山市 ②食べ歩き、音楽鑑賞  
③10月から紀南病院に赴任してきました。石原です。所属は和歌山県医大の第二内科です。よろしくお祈り致します

4階東病棟 寺本看護師長  
和歌山県ナース賞受章！！



令和4年10月21日、紀南病院4階東病棟の寺本りか看護師長が、和歌山県ナース章の表彰を受けました。長年、助産師の業務に従事され、この地域の助産業務の発展に貢献されてきたことが評価されました。



おめでとうございます。

## 第119回がんサロン「ふれあい」 開催のお知らせ

日時:12月2日(金)14時~15時  
(感染症対策として通常2時間のところを1時間の開催となっています)  
場所:2階第5会議室  
※感染症の状況によっては中止になる可能性があります。開催状況については、当院ホームページにてお知らせしますのでご確認の上、ご参加ください。

## 編集後記

早いもので、今年も残りわずかとなりました。12月は『師走』。毎年何かと忙しくなります。忙しくなることが分かっているのに、早くから準備にとりかかれない私...。皆さんはどうですか？  
疲れを溜めすぎないように、体調に気をつけて新しい年を迎えたいと思います。  
2023年、明るいニュースが多い1年になりますように！！  
Y 記

## daikoku 株式会社 大黒

本社:〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

- 和歌山事業所 〒641-0012  
和歌山市紀三井寺 855-71
- 紀三井寺事業所 〒641-0014  
和歌山市毛見 1111-1
- トライアルフィールド ayumino 〒594-1157  
和泉市あゆみ野 4-6-6
- 南大阪支店 〒594-1157  
和泉市あゆみ野 4-6-6
- 大阪支店 〒577-0015  
東大阪市長田 3-7-11
- 神戸支店 〒653-0042  
神戸市長田区二葉町 1-1-22
- 奈良支店 〒632-0018  
天理市別所町 81-8 通真ヨシエプラザ
- 紀南支店 〒646-0011  
田辺市新庄町 3778-2
- トライアルフィールド阪神 〒555-0041  
大阪市西淀川区中島 2-1-27 プロロジスパーク大阪 4 3F
- 新宮営業所 〒647-0052  
新宮市橋本 2-5-61
- 東京オフィス 〒102-0074  
千代田区九段南 2-2-1 エース九段ビル 7F
- 京都丸太町オフィス 〒606-8395  
京都市左京区丸太町通川端東入丸太町 32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

SEIKO MEDICAL  
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、  
「生命を守る人の環境づくり」を通じて  
地域の発展に貢献することが  
私達の使命です。

- 本社  
〒640-8287 和歌山県和歌山市東海6丁目9番地の10  
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223
- 大阪支店  
〒596-0012 東大阪市北豊中町2丁目5番26号  
TEL. 0725-31-3810 FAX. 0725-31-3619
- 新大阪営業所  
〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13  
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781
- 田辺営業所  
〒646-0011 田辺市新庄町 2744番地  
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
- 新宮営業所  
〒647-0072 新宮市橋本 20番 22号  
TEL. 0735-31-8130 FAX. 0735-31-8133
- 奈良営業所  
〒632-0082 天理市別所町 56番地の4  
TEL. 0743-84-3607 FAX. 0743-84-4810

SHIP HEALTHCARE GROUP  
セイコーメディカル株式会社